

羅針盤

豊島区立千川中学校 1学年

NO.5 担当:大島 泰子

平成27年6月2日(火)

* アサリ特集 *

アサリの栄養

- 良質のたんぱく質のほか、鉄分、カルシウム、ビタミンB2・B12など豊富に含んでいます。
- ビタミンB12は、貝類ではトップの含有量です。鉄分は血液を作る材料になり、ビタミンB12は造血作用があるので、貧血の治療薬としても絶大な効果があります。
- 疲労のもととなる物質がたまることを抑え、運動のエネルギー源を消費するときに節約する働きがあるタウリンを含んでいます。
- うまみは「コハク酸」です。アサリは、ホタテ貝の次にコハク酸を多く含んでいます。調理の時は、「だし」は必要ありません。

* あさりの砂出し

水道水をくんでから1時間くらいそのままにしておく。水1リットルに対して20~30g(ティースプーン山盛り5杯くらい)の食塩を溶かし、2~3時間静かにしておくと砂出しができる。塩水はアサリがひたひたにかぶる程度がよい。ザル付きのポールを使用すると、吐いた砂をまた吸う心配がない。容器の上に新聞紙等をかぶせておくとよい。(アサリが水を吐くため、まわりが濡れるのを防ぐため)

* アサリの保存(冷凍)方法

塩抜きしたアサリを丁寧に洗い、水気をよく切ってタッパーまたは冷凍保存用袋等に入れて冷凍する。アサリを大小に分けて保存すると、用途に応じて使い分けができるので便利。

<注意>冷凍したアサリは、解凍せずにそのまま調理すること。冷凍したアサリは急激に加熱しないと、口が開きにくい。味噌汁の場合は、必ず沸騰したお湯の中にアサリを入れること。



いよいよ明日は遠足です。日本では、江戸時代から戸外で遊ぶ風習があり、人々は遠浅の浜辺でアサリやハマグリを探って楽しんでいたそうです。私たちも学年の親睦を図りながら、潮干狩りを楽しみましょう。

* アサリ料理いろいろ *

< アサリのみぞ汁 >

● 材料(4人前)	
殻つきアサリ	400g
水	4カップ
コンブ	10cm
みそ	80g
あさつき	4,5本

(1) アサリは殻ごとよく水洗いする。

(2) 鍋に水、コンブ、アサリを入れて火にかけ、煮したらコンブを取り出す。

(3) アサリの口が開いたら、みそを溶き入れ、小口切りのあさつきを散らす。



< あさりごはん >

材料

4人分	
米	2合
あさり(砂抜き)	500g
酒	大さじ2
あさりの蒸し汁+水	360ml
みりん	大さじ1/2
しょうゆ	大さじ1/2
粗塩	小さじ1/4
しょうが	2かけ
三つ葉	1/2わ
焼きのり	1/2枚
●塩	

作り方

- あさりはヒタヒタの海水程度の塩水に浸してザルをかぶせ、30分以上おいても一度砂抜きする。
- 米は洗ってザルに上げ、15分ほどおく。しょうがは皮をむいてせん切りにする。三つ葉は1cmのざく切りにする。
- (1)のあさりを殻をこすり合わせて洗い、水気をきる。鍋に入れて酒を加え、ふたをして火にかけ、殻が開くまで蒸し煮にする。殻から身をとり出し、蒸し汁は水を足して360mlにする。
- 炊飯器に(2)の米を入れ、(3)の蒸し汁、みりん、しょうゆ、粗塩を加えて軽く混ぜ、しょうがを散らして普通に炊く。炊き上がったらあさりの身を加えて1~2分蒸らし、三つ葉を加えてさっくりと混ぜる。
- 器に盛り、細切りにした焼きのりをのせる。



< ポンゴレスパゲッティ >

スパゲッティ	400g
あさり(殻つき)	600g
白ワイン	大さじ2
にんにく	2片
赤唐がらし(乾)	2本
パセリのみじん切り	大さじ4
オリーブオイル	大さじ4
塩	少々
こしょう	少々



(1) あさりは海水程度の塩水につけ、砂を吐かせる(時間外)。水でよく洗い、ザルに上げて水気をきる。

(2) 鍋に(1)のあさりを入れて白ワインをふり、フタをして火にかけて殻が開くまで蒸し煮する。

(3) にんにくは2~3等分に切り、赤唐がらしは程を取って半分に切る。

(4) スパゲッティはたっぷりの熱湯に塩を入れ、表示時間通りにゆでる。

(5) フライパンにオリーブオイル、(3)のにんにくを入れて弱火でゆっくり香りよく炒め、(3)の赤唐がらし、パセリ、(2)のあさりを加えて炒める。

(6) (4)のスパゲッティを加えて炒め合わせ、塩・こしょうで調味する。

